

社会体育施設等の地域スポーツ活動拠点化セミナー

【事例発表】

# 定住促進に資する 「コミュニティ型体育館」を目指して



上毛町教育委員会教務課社会教育係長 穴田大介  
シンコースポーツ九州(株)ループアリーナ館長 高柿康平

# 福岡県築上郡上毛町

(ふくおかけんちくじょうぐんこうげまち)

福岡県の最東端

<人口> 7,0621人

(令和7年10月31日現在)

<面積> 62.44km<sup>2</sup>

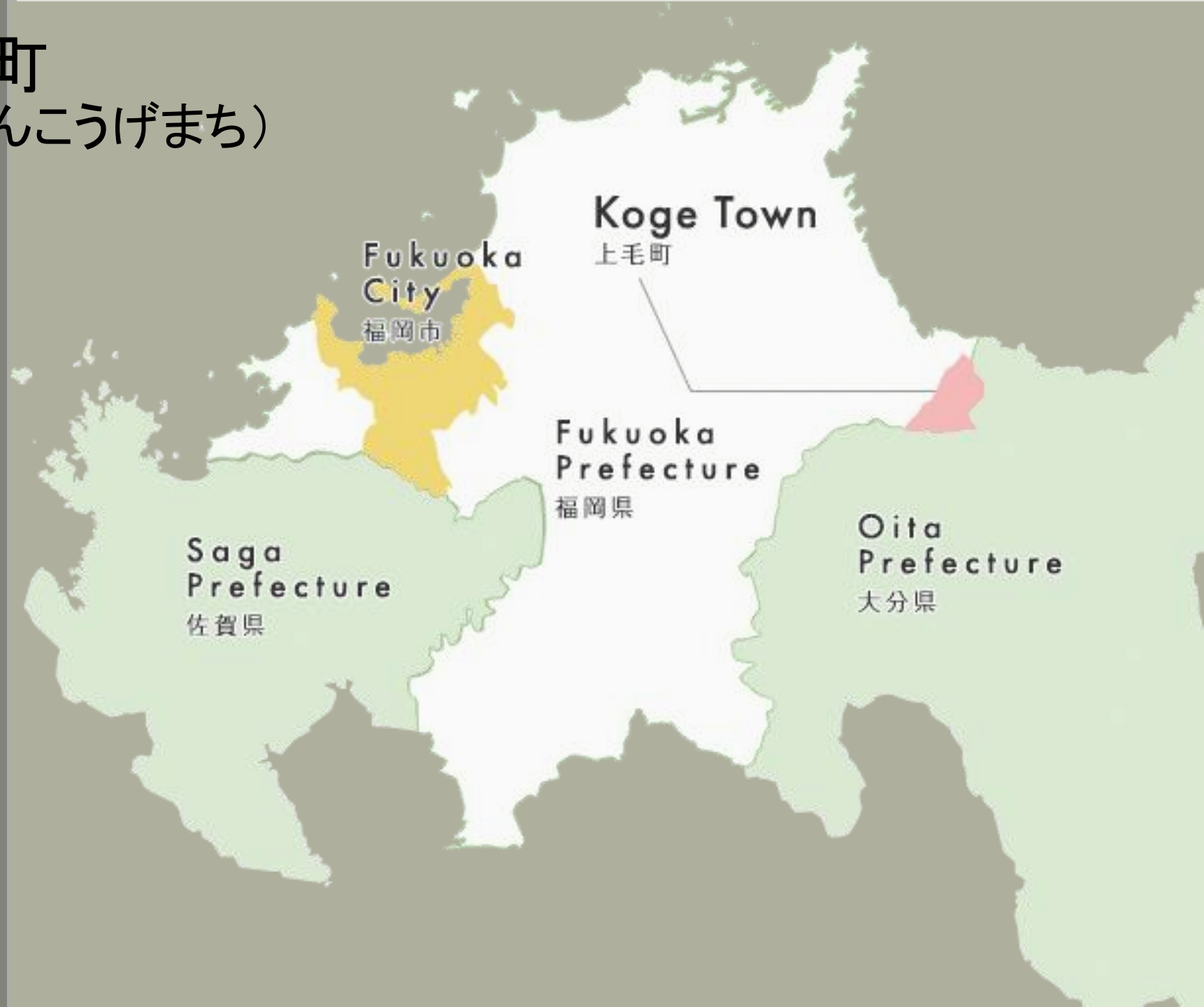
<森林> 62%

平成17年  
新吉富村と大平村が合併

平成29年(令和8年まで)  
第2次総合計画策定

令和2年  
第2期上毛町まち・ひと・しごと創生  
総合戦略

目標:「2040年人口 10,000人」



# 第2次上毛町総合計画における土地利用

## 【定住ゾーン】

住宅地及び都市基盤等関連の土地利用の誘導配置を行う。住環境に商業施設や教育・文化施設・福祉施設、公共施設等町の中心施設を配置

## 【交流ゾーン】

東九州自動車道上毛PA・SIC、国道10号線を活用することで交流人口増加が期待でき、「上毛の顔」と位置付ける地域。

## 【里山保全ゾーン】

良好な景観、自然資源、文化伝承の観点から重要な地域として保全に努める。

## 【新産業導入ゾーン】

企業誘致を積極的に進める地域

## 【優良田園住宅ゾーン】

優良農地の整備及び地域の集落の生活環境基盤の整備



# ループアリーナ建設の経過

## 体育館建設に向けた検討委員会、プロジェクトチーム設置（平成30年度）

### 【基本コンセプト】

- ①定住人口増加につなげる体育館整備
- ②生涯スポーツを推進し、地域コミュニティを醸成する「体育館」
- ③災害に強い「体育館」

### 【上毛町立体育館（仮称）建設基本構想】

上毛町立体育館を定住ゾーンにおける生涯スポーツの拠点として位置付け、また、福祉の拠点である「げんきの杜」と一体的な配置とすることで魅力あるゾーンを形成し、この一体的な配置により誰もが気軽に集え、高い耐震性能を備えた地域コミュニティの拠点とし、健全な心身と地域を育む体育館整備を行います。

# ループアリーナ建設の経過

- 令和元年4月 設計者公募(公募型プロポーザル) 応募6社
- 令和元年6月 第一次審査(書類審査)
- 令和元年7月 第二次審査(プレゼンテーション) (株)NAP建築設計事務所(中村拓志氏)決定
- 令和元年8月 基本設計業務スタート
- 令和元年9月 懇談会設置(関係団体・町民等の意見を基本設計に反映)
- 令和 2年5月 実施設計業務スタート
- 令和 3年8月 建設工事スタート(令和5年6月竣工)
- 令和 4年4月 指定管理者募集 3団体応募「シンコースポーツ・日本管財グループ」決定  
愛称募集 286作品応募「ループアリーナ」決定
- 令和 5年8月 供用開始

# ループアリーナの概要

現代型の交通促進を目的としたコミュニティ型体育館。2つのアリーナを壁やかに隔てる一室スロープ階段と、その周りにラウンジやトレーニングルーム、キッズスペース、カフェ、会議室、テラス、ベンチ等様々な活動が生まれる滞在空間を連続配置。建物外周部は、どこからでもアプローチできるなだらかな土の丘になっており、体育館のマッチアップなボリューム感を軽減し、大地との連続性を生み出している。各層のスロープは丘を無理なく昇るためにゆったりとしたカーブを置き、建物内の一室異趣とゆがみに繋がっている。



## メインアリーナ

バレーボールの公式競技場の床高と2.5mの天井高さを確保し、バスケットボールや様々な競技に対応可能なアリーナ。各種大会や日常の練習、様々なイベント等に利用できます。



## サブアリーナ

バレーボールコート1面分の広さを確保し、大会時には選手の練習場となるように、メインアリーナとの建構に配慮しています。広範囲にも利用できます。

### ■メインアリーナ概要

- 広 さ:有効38m×30m
- 天井高:12.5m以上
- 上足利用

#### 【想定競技】

- 6人制バレーボール(2面) ※センターコート1面としても利用可
- 9人制バレーボール(2面) ※センターコート1面としても利用可
- バスケットボール(2面)
- バドミントン(6面)
- ドッジボール(1面)

#### 【想定イベント】

- 敬老の集い(毎年9月、1回/年、500人を想定)
- 県民スポーツ大会(1回/4年)
- ※選手140人程度(14人×10チーム想定)

### ■サブアリーナ概要

- 広 さ:有効27m×17.4m
- 天井高:7m以上
- 上足利用

#### 【想定競技】

- バドミントン(3面)
- 卓球(4面)
- 6人制バレーボール(1面)
- 9人制バレーボール(1面)
- 剣道(2面)
- 空手(2面)
- 柔道(2面)

## ランニングコース

1周150m。ウォーミングアップや気軽な運動に使えるスペースです。だれでも自由にランニングやウォーキングを楽しめ、様々な角度からアリーナを眺めることができます。

## キッズスペース

未就学児童を対象としたプレイスペースです。キッズ用トイレを完備し、サブアリーナを見下ろせる場所にあり、安心して子どもたちを遊ばせることができます。

## ラウンジ

飲食ができるだけでなく、高齢者や子育て中のお母さん・お父さん、子どもたち、地域住民の方々が集い・対話ができる場所です。

## トレーニングルーム

ランニングマシンをはじめ、上半身・下半身・体幹用トレーニング機器を24台完備しています。ランニングコースと共に一体的なトレーニング空間として活用できます。

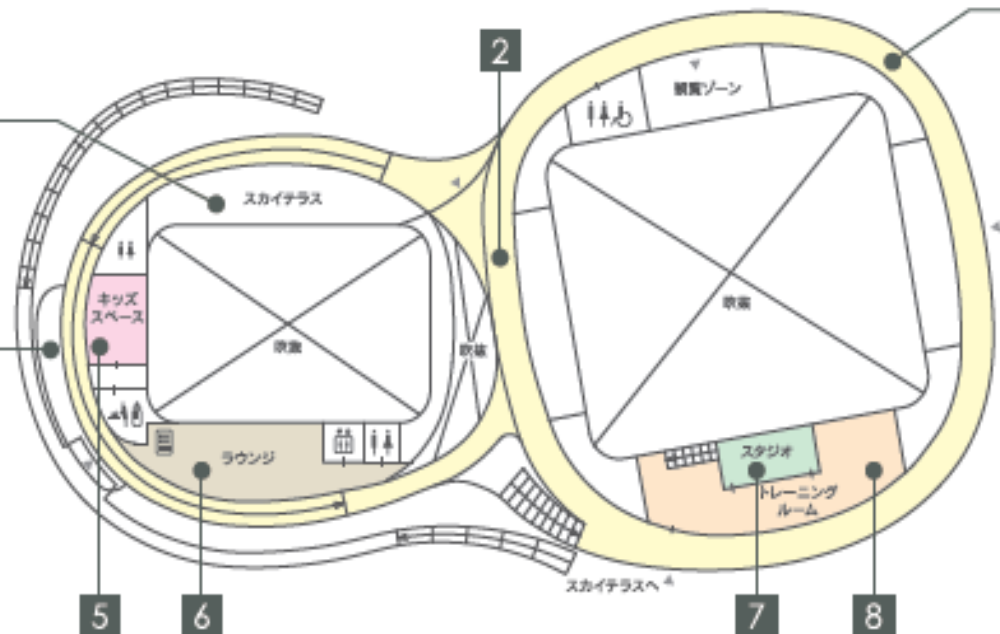
# 2F

### ■ スカイテラス

屋上の観覧スペースは近接するグラウンドを上から眺めることのできる応援所となります。

### ■ ヒルサイドテラス

屋外ラウンジ空間として飲食や待合スペースとして利用できます。



### ■ ∞型動線

アリーナ内の∞型動線は、ランニングやウォーキングを楽しめ、様々な角度からアリーナ内の活動を眺めることができます。∞型動線沿いには、トレーニングルーム、キッズスペース、特徴的なラウンジ空間、ベンチ等を設え、スポーツ以外の活動も楽しむことができます。

### ■ 町産木材

内装は人の触れる壁や家具に町産木材を使用することで、地域産業の活性化やCO2削減、地域の森林整備に貢献するとともに、温かみのある空間を作り出しています。

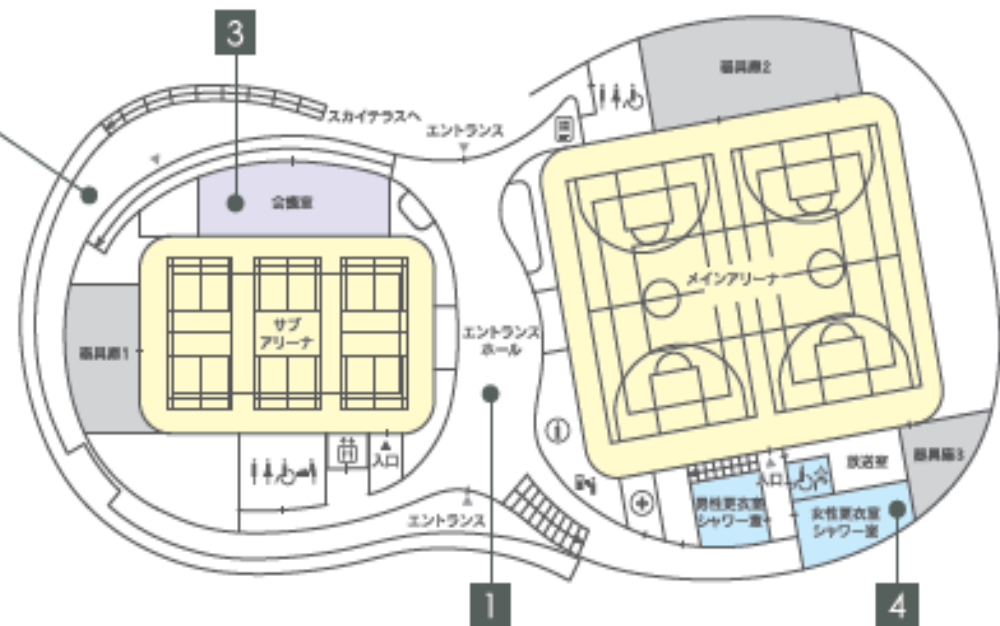
# 1F

### ■ 舗装・屋外階段・屋上スロープ

建物周囲も∞型の動線とし、建物内の∞型動線と相互に行き交うことができ、散歩ルートとしても利用できます。

### ■ 植栽

緑色の外壁や芝に映えるように、桜・サルズベリ・アペリア等、ピンク色の花が咲く木々を植えています。



### ■ 外観

敷地周辺に広がる田園風景と呼応し、深く伸びやかな庇を設け、庇下に利用者を受け入れる滞在スペースを設けています。

### ■ 盛土の丘

建物外周部は、どこからでもアプローチできるなだらかな丘になっており、体育館のボリューム感を軽減し、大地と建築の連続性を生み出します。ガラス張りの外周部から内部が見え、朝しみのある開かれた体育館です。





# ループアリーナの管理・運用体制

■ 指定管理期間 2023年8月～2034年3月（10年間）

■ 年間指定管理料 60,000千円

■ 業務実施体制（JV）

○ 運営業務：シンコースポーツ九州株式会社

総括責任者（館長） 1名 運営業務責任者（副館長） 1名

運営従事者（受付責任者 1名、トレーニング部門責任者 1名） その他運営従事者（アルバイト 7名）

○ 維持管理業務：日本管財株式会社

維持管理責任者 1名 維持管理業務従事者（清掃） 2名

■ 指定管理期間中の役割

① 定住ゾーンにおける生涯スポーツの拠点施設としての機能発揮

② 町施策との連携・協力体制の構築

③ 社会体育施設としての役割

# ループアリーナの利用状況

## ■利用者数について

施設利用者推計 計171,758人

R5年度48,086人 R6年度80,604人 R7年度43,068人 (R7.10末現在)

## ■体育館内居室（トレーニングルームは除く）町内外の割合

R5（町内68%、町外32%） R6（町内76%、町外24%）

## ■年齢層や利用目的（競技、健康づくり、レクリエーション等）

・定期利用 町スポーツ協会に加入する4団体60名程度

町外のスポーツ団体4団体70名程度程度

・その他利用 各種スポーツ大会 11大会 3,540人

レクリエーションやイベント等 5団体 1,780人

保育所が行う運動会 7回 1,300人

# ループアリーナの利用状況（指定管理者自主事業）

## ■管理者が自主開催イベント

令和5年度 3回 2,995人 令和6年度 18回 9,958人

## ■各種教室の開催（全20教室）

令和5年度 1,829人 令和6年度 1,872人

## ■その他利用者増を目指し指定管理者が主に取り組む内容

### 1. 物品販売について

◎ノベルティグッズの販売（販売収入増と施設PRを図る）

### 2. 施設サービス増の取り組みについて

◎施設見学システムの構築（見学DVDの製作、案内サービス、お土産品販売）

◎合宿誘致システムの構築

### 3. 宣伝広告について

◎ホームページ（デジタルサイネージ）の改良（予約システムの構築）

◎イベント時期にあわせた宣伝広告（町内外に問わず、広い周知）

◎企業や学校施設への施設案内（直接訪問して施設PRやチラシ配布）

◎町事業も含めたイベント時や施設視察時での施設PR



ご清聴ありがとうございました